

令和7年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	松本市南部老人福祉センター	所管課 外線番号	高齢福祉課 0263-34-3492						
所在地	松本市双葉4－16	設置年月	昭和58年10月1日						
施設設置目的	高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって高齢者が健康で明るい生活を営むことを目的に設置するもの								
施設概要・設備	松本市総合社会福祉センター3階（845㎡） 大広間、講座室、娯楽室、浴室、くつろぎコーナー等								
指定管理者名（選定方式）	（社）松本市社会福祉協議会（公募）								
指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3ヵ年）								
指定管理者の 主な業務	施設の維持管理及び貸館業務、高齢者学習事業（プラチナ大学）の実施、生活・健康等各種相談、各種教養講座の実施等								
利用料金制の導入	なし 委託料方式								
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比（％）	対前年比（％）				
	施設利用者数	12,000	10,719	89.3%	98.2%				
	講座等参加者数（延べ人数）	460	318	69.1%	111.2%				
	プラチナ大学入学者数	80	80	100.0%	100.0%				
	（特記事項）								
事業収支 （単位：円）	指定管理者収支（令和7年度）				市の収支				
	収入 （歳入）	年度計画額		収支実績額		令和7年度決算		令和6年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		指定管理料	8,450,000	指定管理料	8,450,000				
		計	8,450,000	計	8,450,000	計	0	計	0
	支出 （歳出）	人件費	6,324,000	人件費	8,721,281	指定管理料	8,450,000	指定管理料	8,098,261
		事業費	337,000	事業費	294,016				
				【内訳】					
		事務費	1,746,000	・教養娯楽費	・賃借料				
			・消耗器具備品費						
		事務費	1,417,046						
		・福利厚生費	・諸謝金						
		・印刷製本費	・修繕費						
		・通信運搬費	・会議費						
		・業務委託費	・手数料						
		・保険料							
予備費	43,000	予備費	0						
計	8,450,000	計	10,432,343	計	8,450,000	計	8,098,261		
損益	0		-1,982,343		差引	-8,450,000	差引	-8,098,261	
（特記事項）									

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

評 価 の 基 準		
A	（1. 0）	高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	（0. 7）	事業計画書（提案書）どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	（0. 5）	事業計画書（提案書）どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分を確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	（0. 0）	不適切な部分を確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
66.6

大項目	中項目	評 価 項 目	配点	評価	評価の根拠
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	公平性・平等性に十分留意している。
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	A	適正な労働条件の確保及び法定以上の有給休暇付与や私傷病時の休暇が制度化され、良好な労働環境の整備が高く評価できる。
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	連絡網を作成するとともに、定期的に総合社会福祉センターと連携し職員が利用者とともに防災訓練を行っている。
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	保険に加入し、損害賠償等のリスクマネジメントができている。
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	プライバシーポリシー及び個人情報保護規程を定め、適正に運用されている。
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	社会福祉法人の会計基準に準拠した会計経理事務を行っている。
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	経営状況に問題は見られない。
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	A	同一建物内に事務所があるため、迅速に対応できる体制である。
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	設置目的、業務を適格に理解し適切な事業計画のもと遂行されている。
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	市及び施設内団体と連携し、責任をもって管理運営に携わっている。
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	適切な人員配置となっている。
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	A	市仕様以上の職層である正規職員の管理職を配置し、指揮系統、責任権限とも明確になっている。
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	A	令和7年度に法人独自の人事・給与制度改革を実施。正規・非正規格差の是正、キャリアパスの明示を行っている。
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	研修計画を作成し、適切に実施されている。
		15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	税理士等の専門家を入れた監査を行い、県で実施する指導監査設けている。
		16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	該当なし
		17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	いずれも適正に処理され、期限までに提出されている。
	安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	総合社会福祉センターと連携し、防災訓練を実施している。
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	日常の巡回、清掃を適切に実施し、管理区域も把握している。
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	B	高齢者の生きがいづくり、健康づくりの場を提供するため、プラチナ大学、生きがい講座、文化祭を開催している。
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	事業計画に基づき適切に事業が実施されている。
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	利用者の会による地域奉仕活動が積極的に行われている。
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	A	プラチナ大学の受講者を募集のためのチラシを全戸配布する等利用促進に取り組んでいる。
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	B	サークル間の自主的な交流を支援し、利用者の満足度を高める取り組みをしている。
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	利用者が高齢者であるため、日頃から配慮した対応ができている。
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	B	利用者アンケートを行い、要望に沿った対応に努めている。
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	日常的の適切に実施され、問題ない。
	環境への配慮	28 施設運営における環境負荷の低減に向けた具体的な目標を定め、認定取得等、その達成に向けた取組みが講じられているか	2	B	目標は定めていないが、節減に努めている。
		29 経費削減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	冷暖房の適切な使用や、不要な照明の消灯など節電に努めている。
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費削減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	冷暖房の適切な使用や、不要な照明の消灯など節電に努めている。
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか（又は、利用者を確保できたか）	4	B	計画のとおり実施している。

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	令和7年12月～令和8年2月
	調査対象	利用者の会会員、一般利用者、生きがい講座受講者、プラチナ大学生
	調査方法	一般用、生きがい講座用、プラチナ大学用に分けて質問を設定
調査結果	別紙のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙のとおり	

4 指定管理者による自己評価

令和7年度の 自己評価	・利用者の会は、親睦交流会のアトラクションとして、南部児童センターの音楽発表会を行った。同施設内での、異世代交流の場として、新たな発見を得た。 ・プラチナ大学は、運営に関してアンケート結果から「適当である」が8割を超えた。講座内容は、課外活動、「松本を学ぶ」、「地域を知る」というテーマが人気であった。また、ペタンク大会や、薬膳、相続、防災など多岐にわたる構成が好評で、各講座を通し、知見を広げ、交流を深めていただく場として提供できた。 ・生きがい講座は、各講座ともアンケート結果から「良い」、「また参加したい」との回答が多数あり、次年度も継続し開催したい。
要望・苦情への 対応状況	・講座内容に関する要望は、次年度の企画検討に反映した。 ・利用者間でのトラブルがあったが、職員が間に入り対応した。
今後の目標	・一般利用者の登録更新の際にも、アンケート調査を行い、多くの声を聞きながら、利用しやすい環境整備に務める。 ・プラチナ大学は、聴講制度を復活し、より多くの学びの場、生きがいづくりの場を提供する。また、本校で学んだ知識や経験を地域社会で貢献できるような、福祉、ボランティア活動の情報提供をし、推進していく。 ・生きがい講座、利用者の会、双方が活性化、会員増加へと繋がるような運営方法や、講座内容の構築。

5 市(所管課)による総合評価

総合評価（4段階評価）の基準		
A	(1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

【自主事業を実施している場合の評価】

【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】

【総合的な評価】

- ・モニタリングの結果、事業計画に即した適切な施設運営がなされており、管理面においても適正な労働条件の確保や働き方改革を推進することで経営基盤の改善がみられることを評価する。
- ・利用者アンケートの結果も一般利用、プラチナ大学、生きがい講座とも良い評価を得ていることを評価する。
- ・指定管理者は、利用者アンケートの結果を基に今後の講座運営を計画していることを評価し、今後も利用者の意見を適切に事業運営に生かすよう努めていただきたい。

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数

73.6

判断結果

適 正

判断の基準

75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

【別紙】

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和7年12月～令和8年2月
	調査対象	利用者の会会員、一般利用者、生きがい講座受講者、プラチナ大学生
	調査方法	一般用、生きがい講座用、プラチナ大学用に分けて質問を設定
調査結果	(1) 一般利用・サークル ア 回答率 100% (60人/60人) イ 分析 ・年代は70代、80代が9割で、男女別では女性が6割 ・居住地区では松南・芳川・鎌田地区が多い ・交通手段は、マイカーが約7割 ・現在のサークル活動に「大変満足」「満足」を合わせ約8割が満足 ・職員の対応は、良いが8割、普通が2割 (2) プラチナ大学 ア 回答率 67.7% (44人/65人) イ 分析 ・年代は60代が3割、70代が6割で、男女比は女性が6割強 ・居住地区では、松南、鎌田地区が多いが、比較的全市から参加 ・入学の動機は、①さらに学びたかったが5割、②新たな出会いを求めてが3割 ・その他の動機として、友人に勧められた、松本のことをもっと知りたかった、学びと人の出会いを求め申し込んだ、仕事に余裕ができたから、等 ・開講日数・講義時間ともに現状で良いとの回答が多数 ・班編成については、1班あたりの人数が多すぎるとの回答2割弱 ・好評なカリキュラムは、相続のおはなし、プラチナ社会を心豊かに生きる、健康体操、上高地自然散策等 ・今後受講してみたい講座は、情報技術、松本市の歴史、将来について、医療関係、手話、温暖化について等 (3) 生きがい講座 ア 回答数 38人 イ 分析 ・年代は60代が約2割、70代が約6割で、男女別では女性が8割 ・居住地区としては、松南、芳川地区が多いが、比較的各地区から参加 ・すべての講座で良いと回答された方が多く、特に健康体操に関しては継続的に開講してほしいとの声が寄せられた ・今後要望する講座としては、本年度の内容を継続してほしいとの意見が多かった ・新規企画の要望としては、フラダンス、ヨガ等	
利用者からの意見 要望・苦情等	(1) 一般利用・サークル関係 ・会員が減少しているサークルの増員策を要望 (2) プラチナ大学関係 ・班の人数(13～14名)は多すぎると思う ・上高地自然散策の行程に余裕がなかった(明神池コース) (3) その他 ・入浴マナーの悪い人がいる	